

たすけあいながらやりなおすこと



フォコラーレ
focolare.org/japan



きょうだいのめにあるおがくずはみえるのに、なぜじぶんのめのなかにある
またにきがつかないのか。(ルカ 6・41).



たくさんの方がイエスについてきます。おはなしをききたいからです。でもときどきわからないことをおはなしされます。きょうはなにもききたいせずに、てきをあいすることをはなしています。



イエスははなします。「さばいてはなりません。ゆるしなさい。」たくさんの方が、できないといいます。「わたしはかんげいがない。」「きょうだいのめのなかのおがくず、そしてじぶんのめのなかのまた」とイエスさまはいわれます。



イエスさまはいわれます。「きょうだいのけつてんはみえてもじぶんのものはきがつかない。」さばかないようにたすけてください。いつもやりなおして、まちがったことをおかあさんのあいでいしましょう。



ぼくはサッカーのともだちがいる。あるひまちがってかれのあしをきずつけた。かれはとってもおこって、あやまったのにぼくとはなさなくなった。



かれがぼくをゆるしてくれなかったので、かなしくておこってしまった。でもてきをあいしなさいということばをおもいだした！ぼくはちいさなあいのおこないをきづかれぬようにつづけてやった。



あるひ、げんかんのべるかなくなって、このともだちがきてまたいっしょにサッカーをはじめようといってきた。うれしかった。それからぼくたちはまたきょうだいのようにあいあうようになったよ。
(ゴゴのピエール)